

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 719 1177 1093"><tr><td data-bbox="635 719 895 902">1</td><td data-bbox="895 719 1177 902">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 902 895 1093">3</td><td data-bbox="895 902 1177 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

1445
1446
1447
1448

第三方面軍直轄 部隊名 獨立混成七九旅團砲兵隊

通稱號 満洲 丈夫二五二八八〇七

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	人員編		別隊		隊長名		開入		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソの變動		隊別計		満洲残留	
二〇、三、三〇、牡丹江 二〇、三、三〇、牡丹江 二〇、四、五、石頭へ移動 二〇、五、二十、鏡泊湖 近山中に移動 二〇、六、三、安東へ移動 安東にて終戦 二〇、八、末、安東にて武 解		一九年以降 二〇、三、二 二〇、三、三 二〇、三、三 第三軍司令部 一一四 二〇、七、 法、下士候 ハルビン、 五	一九年以降 二〇、七、 河城下士候 一五	577		別隊		(内は先代を示す)		戦時		平時		戰鬥時									
三第	隊中二第	隊中一第	部	本		別隊		隊長名		開入		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソの變動		隊別計		満洲残留	
	少尉 矢野	中尉 藤堂	中尉 中川	少佐 松尾		別隊		(内は先代を示す)		戦時		平時		戰鬥時									
	右同	右同	右同	東安		別隊		(内は先代を示す)		戦時		平時		戰鬥時									
						別隊		(内は先代を示す)		戦時		平時		戰鬥時									
						別隊		(内は先代を示す)		戦時		平時		戰鬥時									
						別隊		(内は先代を示す)		戦時		平時		戰鬥時									

轉出
十九年以降
二〇、七
阿城下士隊
一五
二〇、七
按部下士隊
ハルビン
五

部隊名 獨立混成七九旅團砲兵隊

通稱號 滿丈夫二五二八八〇七

郵便所名

577				編制人員
三第	隊中二第	隊中一第	部本	別隊
少尉 矢野	中尉 藤堂	中尉 中川	少佐 松尾	隊長名 (内は先代を示す)
				開人 戰時 人員
				駐屯地
右同	右同	右同	東安	戰鬥間の狀況及損耗
				終戦後の人員變動
				作業大隊より 入「ソ」迄の變動
				入「ソ」人員
				滿洲殘留
				收容所名
				所人
				死亡
				滿洲より領
				人員計
				狀況不明者數

武勝后逃亡三〇名

隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本
少尉 矢野	中尉 藤堂	中尉 中川	少佐 松尾
右 同	右 同	右 同	袁 安
			警察局長二〇名

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 719 1166 1093"><tr><td data-bbox="635 719 895 904">1</td><td data-bbox="900 719 1166 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 911 895 1093">3</td><td data-bbox="900 911 1166 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

1449
1450
1451
1452

所屬
第三方面軍直轄

部隊名
獨立混成七九旅團工兵隊

通稱
通稱 番号
丈夫二五二八三五

郵便所名

全般概要 二〇、一、一六、編成 二〇、三、三 二〇、二、八、隊 一〇、三 二〇、三、三 水上勤務四二 中 二九 應召 九八 二〇、五、二 一九、九、集現 七六 二〇、五、二 二〇、年集現 一九、九 其の他 六三	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	人員編制 288	隊別	隊長名 大尉 堺 省一 (内は先代を示す)	戰時人員 400	駐屯地 安 東	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より「入」の變動	隊別計	滿洲殘留
--	-------------	-------------	-------------	----	-----------------------------	-------------	------------	-----------	----------	--------------	-----	------

部隊名 獨立混成七九旅團工兵隊

通稱 號稱 丈夫二五二三八一五

郵便所名

288	編制人員	出降 九年以
	別除	
	隊長名 (内は先代を示す)	大尉 堀 省二
400	開人 戦時員	
	駐屯地	安 東
	戦時員	
	戦況及損耗	
	終戦後の人員變動	
	作業大隊より入ソ人員	
	入ソ人員	
	隊別計	
	滿洲残留	
	收容所名	
	所人	
	死亡	
	滿洲ソ領より	
	計	
	歸還人員	
	状況不明 者数	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 725 1171 1093"><tr><td data-bbox="639 725 895 909">1</td><td data-bbox="895 725 1171 909">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 909 895 1093">3</td><td data-bbox="895 909 1171 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

1457
1458
1459

第三方面軍直轄

部隊名 獨立混成七九旅團通信隊

通稱號

滿 丈夫二五二八七八

郵便所名

全般概要

轉入 轉出

編入 編除

隊長名

開人

駐屯地

一九一九年六月

一九一九年六月

本

大尉 笠井 清

時員

時員

二〇、一、一六 編成

二〇、三、三三 編成

本

大尉 笠井 清

時員

時員

茲に記入してあるのを全部抹消して左記を
記入する
昭和廿一年一月十一日牡丹江興隆で編成下命

昭和廿一年三月十日完成した

昭和廿一年四月五日寧安移駐

昭和廿一年五月下旬！二十年六月下旬蕭站附置

昭和廿一年七月七日安東移駐安東地區警備停戦

昭和廿一年八月廿八日武源人員約百四十名

昭和廿一年九月十八日奉天集結の爲安東出發

昭和廿一年九月十八日奉天集結の爲安東出發

昭和廿一年九月十八日奉天集結の爲安東出發

昭和廿一年九月十八日奉天集結の爲安東出發

昭和廿一年九月十八日奉天集結の爲安東出發

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソ一連の變動

入ソ人員
除別計

滿洲残留

1453
1454
1455
1456
1457

第三方面軍直轄 部隊名 獨立混成七九旅團通信隊

通稱號 丈夫二五二五七八

郵便所名

全般概要	二〇、一、一六、編成 二〇、八、三〇、安東中隊 七二武隊	轉入	轉出	員入副編	別	隊長名	開入	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	隊別計	入「ソ」人員	滿洲殘留
	在滿各隊者大部分名解	十九年以降	十九年以降	202	本 部 行 班 隊 中 隊	大尉 笠井 清 (内は先代を示す)	戦時 234	鳳安 鳳東 城 東安 東安						
		二〇、三、三二、七三〇、機 〇 電信第七聯隊 二五 二〇、三、三 一〇、七、七 電信第四聯隊 二〇 應召 九六 二〇、三、三 〇 電信第二五師團 二〇 其の他 六九 眼二五二〇 在滿各隊者五五 〇、七、七、七 野人二〇名												

部隊名 獨立混成七九旅團通信隊

通稱號

滿 丈夫 二五二五 五七八二八

郵便所名

出 年以降		編制人員		202	
別隊	隊長名 (内は先代を示す)	本隊	本隊	行	班
大尉 笠井 清				佐長 塚本	
開入	戦時	戦時	戦時	戦時	戦時
70	70	40	234		
駐屯地	平時	戦時	戦時	戦時	戦時
鳳安 鳳安 鳳安	鳳安	鳳安	鳳安	鳳安	鳳安
戦闘間の状況及損耗					
終戦後の人員變動					
作業大隊より入「ソ」迄の變動					
入「ソ」人員	除別計				
滿洲殘留					
收容所					
收容所名					
所人					
死亡					
滿洲より					
領より					
計					
老					
数					
狀況不明					

文部省 印刷局
 昭和十一年十月一日
 印刷局
 文部省 印刷局
 昭和十一年十月一日
 印刷局

二〇、一、一、六、一
 二〇、一、一、三、〇
 二〇、一、一、三、〇

二〇、一、一、三、〇
 二〇、一、一、三、〇
 二〇、一、一、三、〇
 二〇、一、一、三、〇

二〇、一、一、三、〇
 二〇、一、一、三、〇
 二〇、一、一、三、〇

202

本 部 行 班 隊 中 線 有 隊 中 線 無

大計 四六

任長 塚本

見士 塚本

70

70

40
234

東京 東京 東京 東京 東京

隊中節点

隊中線有

班季行

部

本

見士
廣江和政

伊長
塚本

大尉 笠井 清

10

10

40
234

東京

東京

東京

送

圖書

室

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 719 1166 1093"><tr><td data-bbox="639 725 895 904">1</td><td data-bbox="900 725 1161 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 911 895 1090">3</td><td data-bbox="900 911 1161 1090">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

1458
1459
1460
1461

第三方面軍直轄 部隊名 獨立混成第七九旅團輜重隊

通稱號 満丈夫二五二六八八九

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	人員制編	別	隊長名	開入	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ迄の變動	入ソノ人員	滿洲残留
二〇、一、一六、牡丹江、 液化に於て編成 二〇、八、二、安東地区に 移動 二〇、八、一五、南安東に 集結 二〇、八、一九、四〇〇名 七〇名安東よりハーマン に移動 二〇、八、三〇、安東中隊 にて戦後解散 在滿召集者の大部分召解 其のソ部より蘇家屯に移動 を命ぜられた中安東隊前で 解散、一部は自動車にて蘇 家屯近北隊に編成、四八大 隊に編入 コムナール、チャイナゴ ル、ハルハタイに收容		一九年以降 二〇、三、三 〇 獨立自動車第 七〇大隊 二二五 二〇、三、三 〇 第三軍司令部 一八七 其の他一〇二			本	少佐 松永 清藏	開入 戦時 平 戦時						
608					隊中	中尉 菅原 鏡							
129					隊中								
250					隊中								
二〇、七、七、下旬より本隊と離れ兵團工兵隊 の配属となり安東縣(ハーマン)隊(安東より 北方三〇日)附近山中にて教育施設に従事 終戦に至る													

スコウルスカヤ
第八四收容所
コムナール
ハルハタイ
チャイナゴ
トル

608				出降
員人制編				部隊名
別	隊	本	部	獨立混成第七九旅團輜重隊
中尉 菅原 繁	少佐 松永 清藏	(内は先代を示す)	隊長名	
60	129	250	開入 戦時 人員	
			駐屯地	
			戦時	
二〇、七、下旬より本隊と離れ其連工兵隊 の配属となり安奉線(マタン線)安東より 北方三〇日(附近山中にて教育突城に従事 終戦後退る。				通稱 號 満洲 丈夫 二二五 六八八九 郵便所名
				戦闘間の状況及損耗 終戦後の人員變動
				作業大隊より 入ソノ迄の變動
				入ソノ人員 隊別計
				満洲残留
スエウルスカヤ 第八四收容所 コムナール ハルハタイ チャイナゴール				収容所名 収容所
				所人 死亡
				満洲ソノ領 より 計
				帰還人員 状況不明 者数

二〇、一、一六、菅野江、
渡谷に於て編成

二〇、八、二、安東地区に
移動

二〇、八、一五、南安東に
到着

二〇、八、一九、四〇〇名
召解

七〇名安東よりハーマン
に移動

二〇、八、三〇、安東中隊
にて武器解除

左派兵隊者の大部分召解

其の半より警察官に移動
を命ぜられた途中安東駅前
解散、一部は自動車で安東
安東河北区に編成、四八大
隊に編入

コムナール、チャイナゴ
ル、ハルハタイに到着

二〇、三、三
〇

獨立吉野班第
七〇大隊
二二五

二〇、三、三
〇

第三軍司令部
一八七

其の他一〇二

本 部	隊 中 一 第	隊 中 二 第	隊 中 三 第
少佐 松永 清義	中尉 菅原 義		
250	129	160	
	二〇、七、下旬より本隊と離れ兵團工兵隊 の配属となり安東城ハーマン隊ハ安東より 北方三日月(附近)山中にて教育隊隊の編成 を終了する		

隊中輛車第三	隊中輛車第二	隊中馬挽第一	部 本
	中尉 菅原 繁		少佐 松永 清
160	129	250	
	<p>二〇、七、下旬より本隊と離れ兵隊工兵隊の配属となり安奉線ハヤマン駅(安奉より北方三つ目)附近山中にて敵軍突撃に死傷を蒙る。</p>		
		ニコウルスカヤ 第八四救急隊	
	コムナール、ハルハタイ、チャイナゴール		